

社会福祉法人千年会 (ちとせかい)

代表者名：理事長 小林 大真

業種：障害者福祉事業

所在地：弘前市

労働者数：50名（男性19名、女性31名）



1 企業概要

当法人は「一人ひとりの人権を尊重し、障害者福祉の向上に努めます」を理念とし、障害者支援施設、相談支援事業所の運営を行っています。

2 子育て支援に力を入れたきっかけと効果

2010年（平成22年）頃より新規学卒者の採用が続き、その方々が子育て世代となったときに仕事と子育てを両立し、いきいきと働ける環境を作るため、行政で行っている認証制度などくるみん認定以外の制度も活用し、子育てしやすい制度づくりや独自の取組みなども行いました。出産、子育てに起因する退職者は0名を維持。また、男女労働者それぞれで、育児休業取得実績もあります。

3 計画に掲げた目標

（計画期間 令和4年4月1日～令和7年3月31日）

- ① 男性職員の育児休業取得率を70%以上にすること。
- ② 職員の子ども（家族）も参加できるイベントなどを年2回以上実施する。
- ③ 年次有給休暇の取得率を平均70%以上にすること。

4 主な取組内容・取組効果

主な取組内容

- ① 育児休業制度の周知。労使面談の実施。勤務シフトの調整等休みやすい職場環境づくり。
- ② 職員及び家族が参加できる次のイベントを実施。
 - ア 健康ウォーキング（直近2年では、併せて植樹も実施）
 - イ 地域食育活動である「みんなの食堂」へ親子で参加し、調理や食事を通して地域住民と交流
 - ウ こども参観日の実施（働く親の姿を見てもらい、親の仕事への理解を深める等が主眼）
- ③ 面談等による取得状況の確認。取得者が多い部門への人員配置を工夫。時間単位等取得しやすい環境整備。労使双方で取得率の目標を設定。

取組における工夫点

- ① 取得者に加え職員全体に育児休業制度の周知を行い、職場内での取得への理解を深めた。面談シート等を活用し取得者の状況を確認。育児休業後の円滑な職場復帰に向けて、取得者あて会議資料や法人の状況に係る情報等を毎月郵送。
- ② イベント企画には、子供がいる職員達も参画し、効果的な活動となるよう工夫。また、健康や福祉への意識向上、子どもとふれ合う機会の充実等の相乗効果も生まれている。
- ③ 計画的取得に向けた資料等配付により周知。各労働者の年次有給休暇取得簿に各人の取得目標を記載し計画的な取得を促進。その結果、令和6年度取得率は80%を超えた。

育児休業等の取得状況（計画期間内）

- ① 育児休業を取得した男性労働者：取得率100%（配偶者が出産した男性職員1名のうち1名取得）
- ② 育児休業を取得した女性労働者：取得率100%（出産した女性職員2人のうち2名取得）

【育児休業を取得した男性労働者の声】

対象者が少数で取得に少し肩身が狭い感じもありましたが、他の職員の理解もあり、無事に子どもとの時間を過ごせました。職場復帰後もスムーズに業務に戻ることができました。産後パパ育休を活用し日々の子どもの成長の確認や、配偶者等家族のサポートができて良かったです。

【男性の育児休業取得率を上げるために法人が行った取組】

対象者は少数でしたが、当該職員には個別に意向の確認を行い、職員全体に制度の説明を行い取得に向けた理解を深める等、取得しやすい環境づくりを行いました。

5 企業代表からのメッセージ

これまでの様々な取組による働きやすい職場環境づくりから、これからは次代に向けた全職員での共創・共感による、働きがいのある職場環境づくりに一層努めて参ります。